

浜松市はままつ夢基金事業費補助金事業完了報告書

1 団体名、事業名、補助金額等

(1) 団体名	特定非営利活動法人 浜松日本語日本文化研究会
(2) 事業名	外国人児童生徒への日本語・教科学習支援事業
(3) 事業費総額 および補助金 交付決定額	事業費総額 400,011 円 補助金交付決定額 50,000 円
(4) 実施事業の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週末に地域の施設で学習会を開き、漢字や文型などの日本語指導や教科指導、学校の課題に取り組む子どもへの助言助力をする。 ・ 地域の保育施設や学校から日本語や教科学習の支援の必要な外国人児童生徒への支援要請を受け、指導者を派遣する。

2 事業の目的について

(1) 地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内では、日本語や教科学習の指導が必要な児童生徒が増えているが、市の行っている「日本語・学習支援事業」だけでは十分な支援ができていない。 ・ 小中学生が学校以外で日本語や教科を学ぶ場所が少ない。 ・ 幼稚園や保育所で日本語指導のできる専門家が少ない。 ・ 日本の小中学校を卒業しても、社会生活に必要な識字能力が十分に身に付いていない地域住民が増える。
(2) 事業の目的・必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校入学前までに日本語の音韻認識力を高め、語彙を増やす。 ・ 外国にルーツをもつ子どもたちの日本語力や自己効力感を高めることで学ぶ力を伸ばし、将来、地域社会の一員として活躍できるようにする
(3) 事業の先進性と独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国につながる子どものいる保育施設や小中学校からの支援要請に即応できる。 ・ 日本語や学習指導に精通した指導者や多文化共生に理解のある地域のボランティアによる週末学習支援である ・ 保護者にも日本の教育制度などについてアドバイスができる。

3 事業の実施内容

(1) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編入3年目の光が丘中学校の2年生の生徒への教科指導を行った。 ・ 北浜東小学校、笠井小学校、蒲小学校では、市の「日本語・学習支援事業」での支援に加え、それぞれ18時間、4時間、8時間の日本語基礎指導や教科指導を行った。 ・ 週末の学習支援では、参加を希望した小中学生を広く受け入れ、学びたい生徒に学習の機会を作った。 ・ 外国籍児童の親から、現在の悩みなどの聞き取りを行い、必要に応じてアドバイスをした。 ・ 白脇幼稚園の延長保育の時間に日本語指導者を派遣し、カード遊びや絵本の読み聞かせを通して日本語力の強化を図った。
(2) 実施場所	浜松市天竜協働センター 光が丘中学校、北浜東小学校、笠井小学校、蒲小学校、白脇幼稚園
(3) 対象者	浜松市内の小、中、高校や保育施設に通学・通園する外国にルーツを

	持つ児童生徒で、日本語学習支援が必要な児童生徒	
(4)実施体制と 事業スケジュール	①人員配置・ 役割分担等	<ul style="list-style-type: none"> 事務局 2 名 事業全体の統括、指導者の募集、連絡、配置、指導のアドバイス、その他関連事務 教室コーディネーター（和田） 教室の開催、実施、まとめ （児童生徒の募集、学校との連絡、児童生徒の親との連絡、指導者との連絡、内容の確認など） 指導者 12 名 日本語及び算数・数学や国語などの教科学習支援 ボランティア（地域の有志）1 名 教科学習支援
	②事業期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
	③実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 天竜協働センター：隔週の土曜日の午後（全 20 回） 小中学校：1 学期～3 学期 白脇幼稚園：10 月～2 月

4 事業の目標と成果

(1) 事業の目標と成果の確認	①事業の目標とその成果の確認方法	幼稚園、小学校、中学校の担当の教諭と連携し、日本語力や教科理解を確認したり、定期試験の結果を見たりする。
	②目標達成のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習と関連付けるため、学校で学習したプリントやノートなどを一緒に見ながら学習を進めるとともに、その子なりの頑張りを認め、自己肯定感を持たせるよう努めた。 幼稚園では、実態に即したカリキュラムを作成し、カリキュラムに即した絵カードを作成した。 保護者には、送迎の際、学習の様子を伝えたり、高校進学に向けてのアドバイスをしたりした。
	③事業終了後の展開	子どもたちの日本語力を伸ばす教材の開発や活動の在り方の研究を続けるとともに、子どもたちのニーズに応じた支援活動を行うことで、一人ひとりの子どもの可能性を広げ、将来浜松市の発展を担う市民となるように育てていく。

事業収支決算書

1 収入の部

単位：円

項目	決算額 (A)	予算額 (B)	比較(A) - (B) マイナスは△で表記。	備考
自己資金	336,411	458,500	-122,089	
	13,600	20,000	-6,400	100円×延べ136人
夢基金補助金	50,000	50,000	0	
合計	400,011	528,500	-128,489	

2 支出の部

項目	決算額 (A)	予算額 (B)	比較(A) - (B) マイナスは△で表記。	備考
教室コーディネーター	20,000	25,000	-5,000	1000円×20回
指導者給料	353,250	462,500	-109,250	天竜協働センター:1000円×2時間×延べ99人 小中学校支援:1500円×84時間 白脇幼稚園:1500円×1.5時間×13回
ボランティア謝礼	3,000	6,000	-3,000	天竜協働センター1人分
事務人件費	10,000	20,000	-10,000	1000円×5時間×1人 1000円×3時間×1人 1000円×2時間×1人
印刷・消耗品費	3,601	5,000	-1,399	ラミネートフィルム糊
借損料	10,160	10,000	160	天竜協働センター講座室 580円×12回、 400円×8回
合計	400,011	528,500	-128,489	

「外国人児童生徒への日本語・教科学習支援事業」事業報告

活動の様子

